

米国等の国際経済について

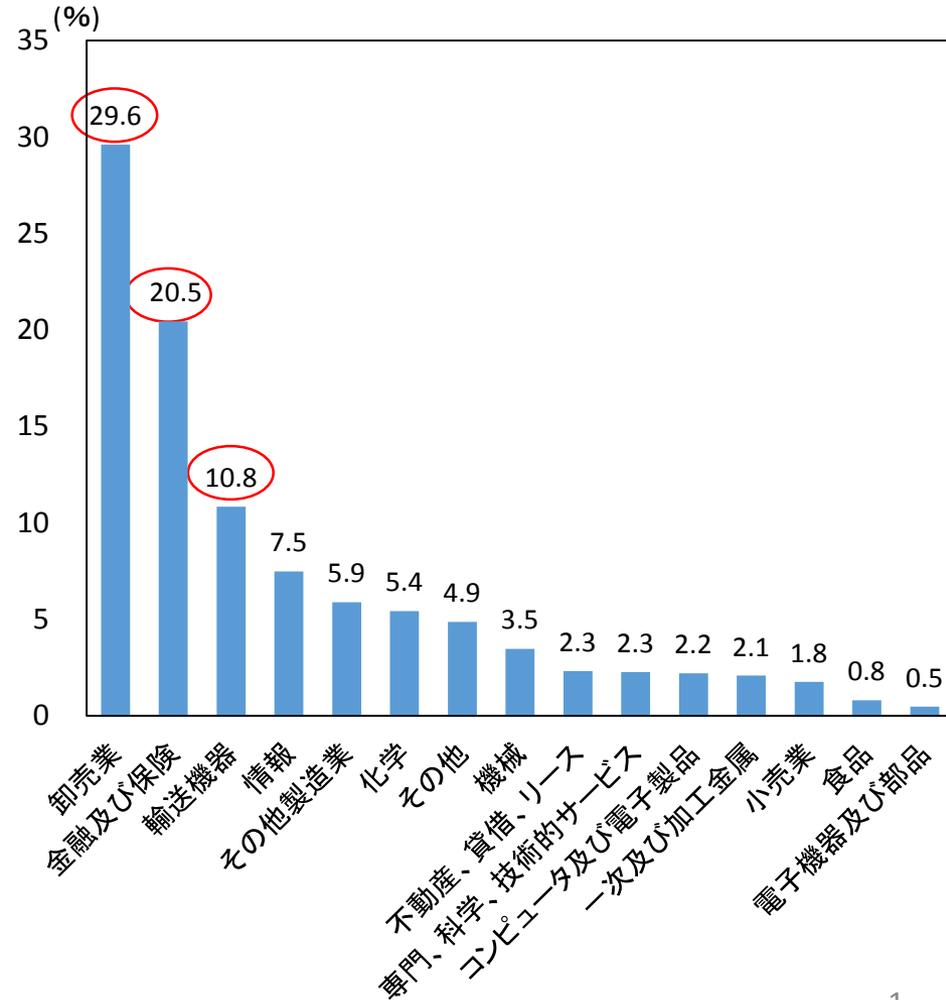
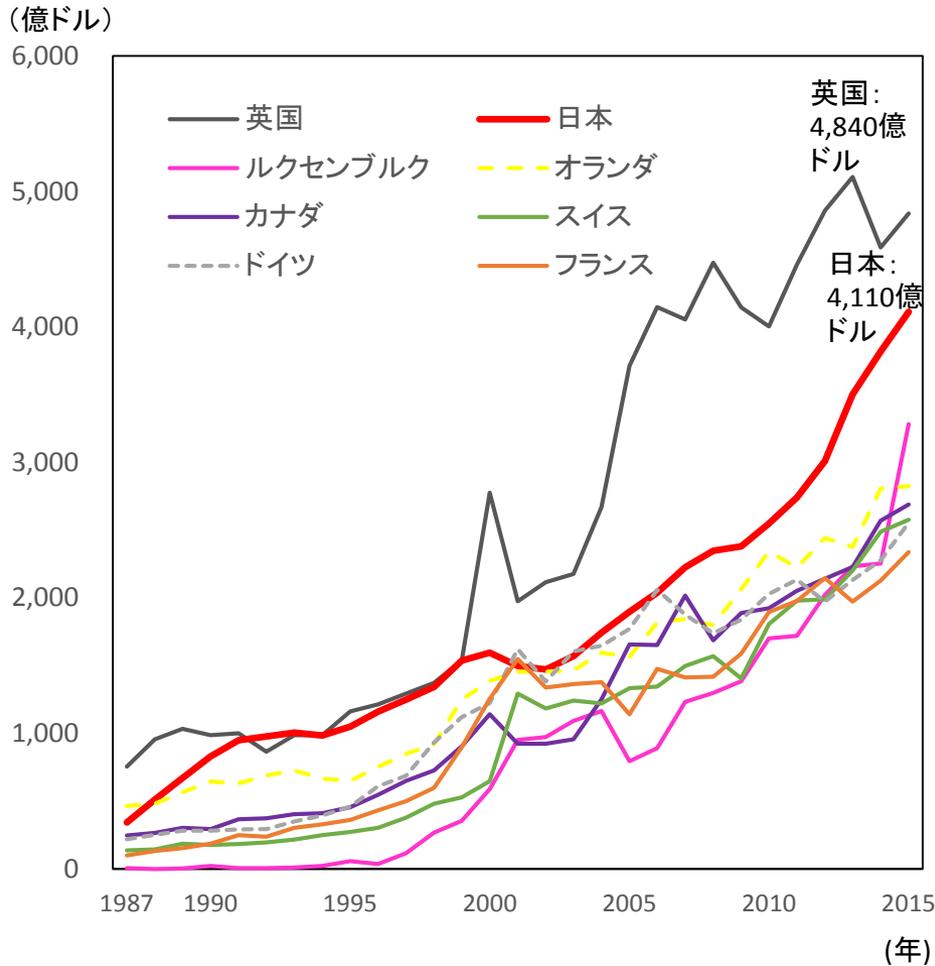
内閣府

平成29年2月15日

日本から米国への直接投資残高

○日本の対米直接投資残高は着実に増加（2015年には4,110億ドル）。国別では英国に次いで2位。

○日本の対米直接投資残高（2015年）を業種別にみると、「卸売業」（自動車、電機等の販売部門）、「金融・保険」（銀行、証券等の米国法人）、「輸送機器」（自動車工場）等の割合が高い。

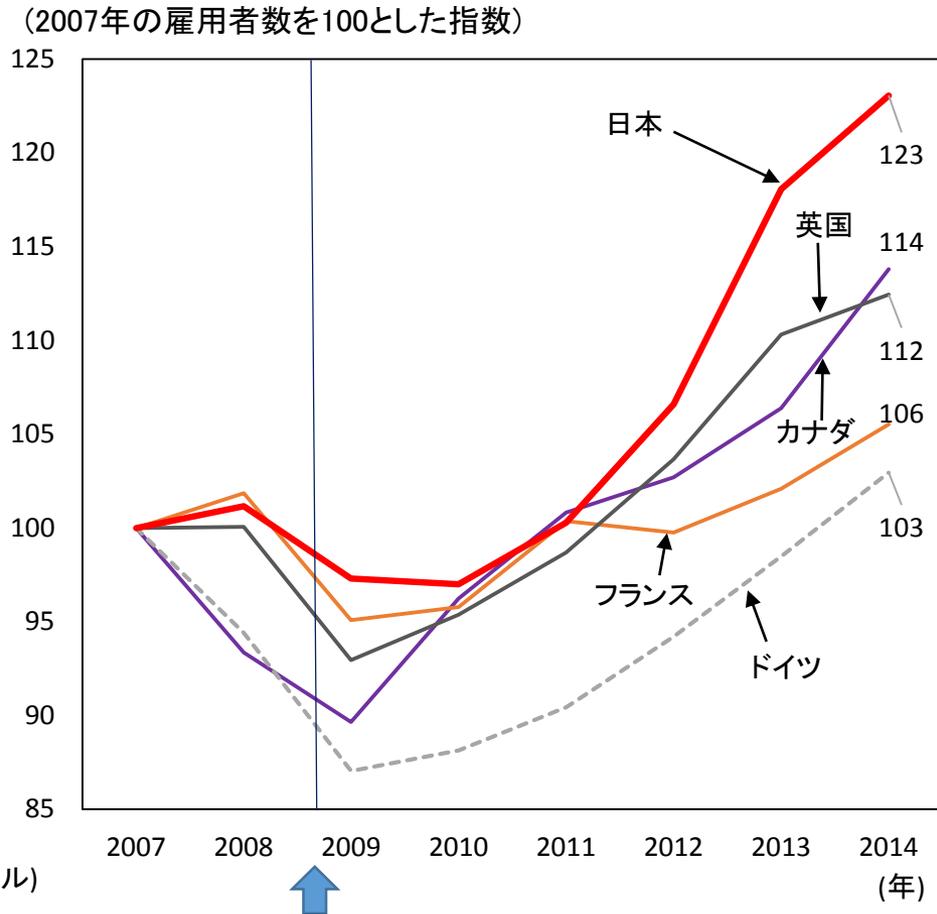
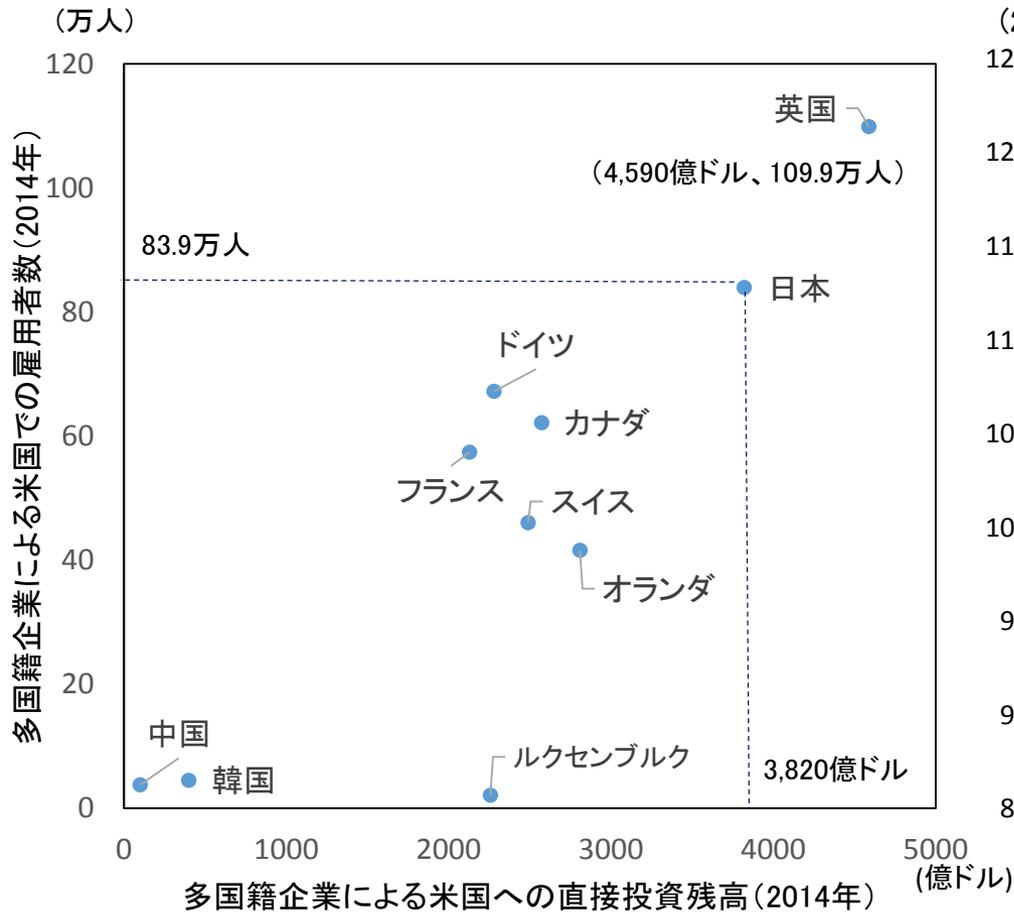


(備考) 米国商務省直接投資及び多国籍企業データより作成。

米国における日系企業による雇用者

○米国における日系企業による雇用者数は83.9万人で、英国に次いで2位(2014年)。

○日系企業による雇用者数はリーマンショック時にも安定的に推移。

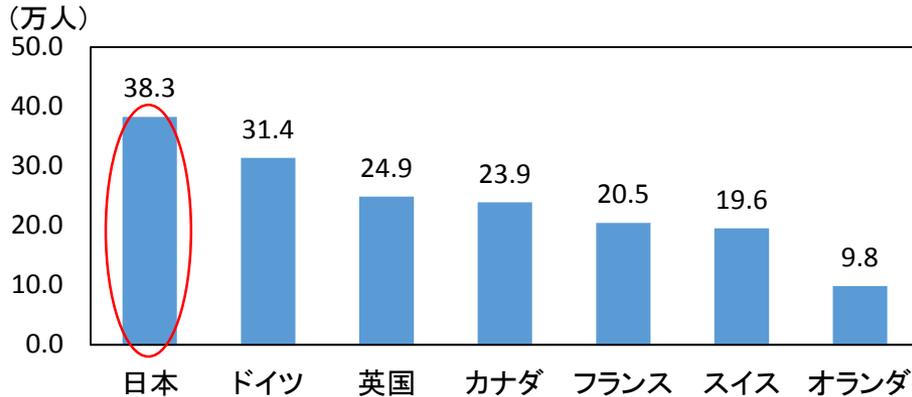


(備考)米国商務省直接投資及び多国籍企業データより作成。
「多国籍企業」、「日系企業」のいずれも議決権過半数所有子会社が対象。

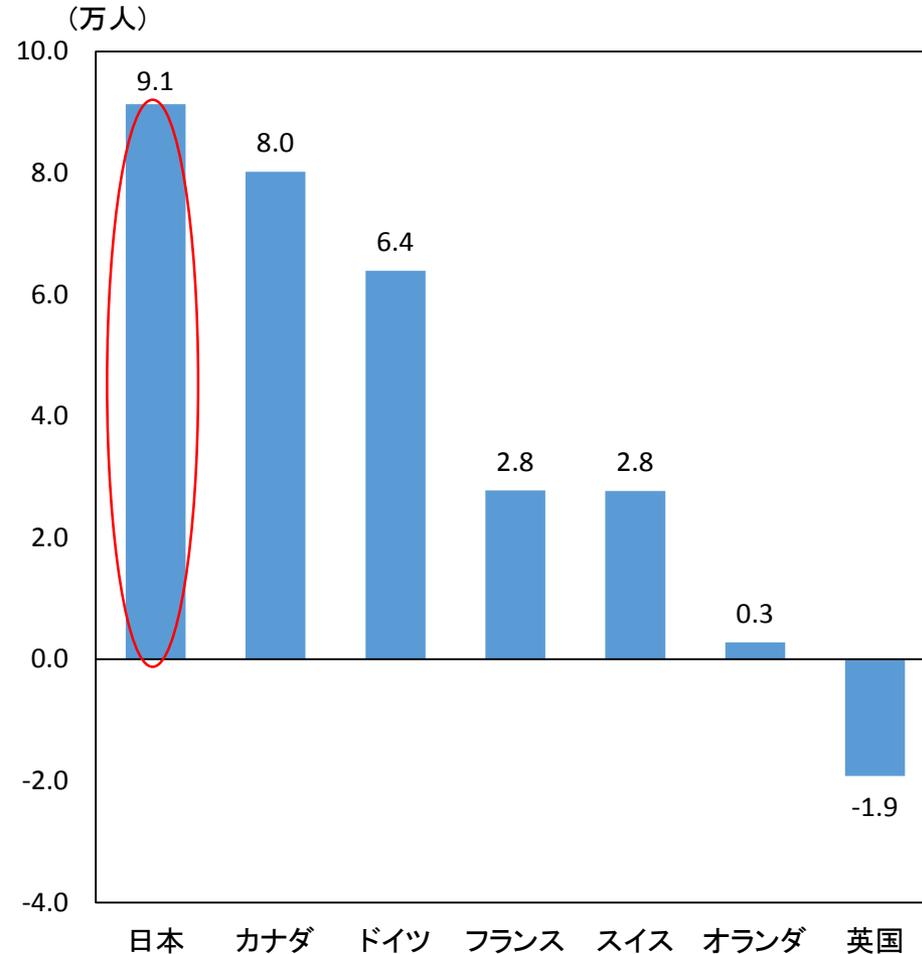
↑
リーマンショック
(2008年9月)

製造業分野での日系企業による雇用者

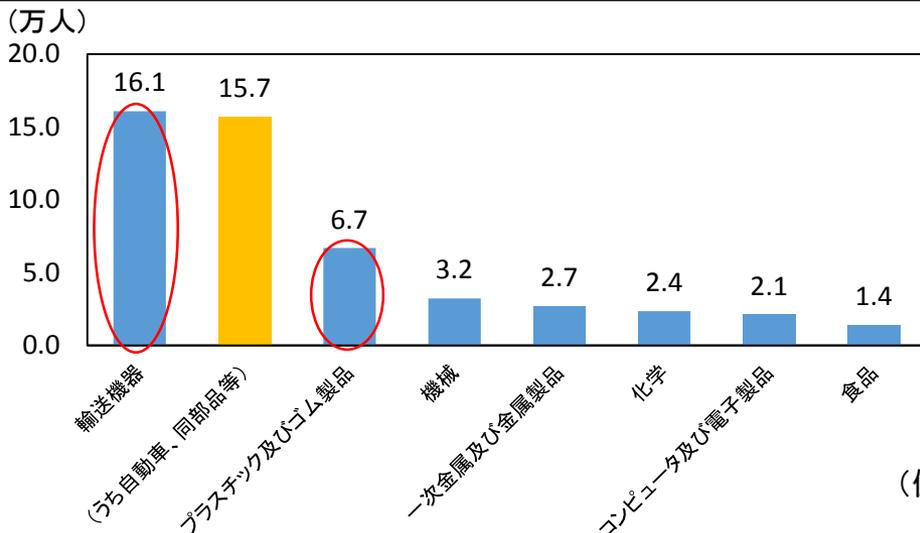
○製造業分野での日系企業による米国での雇用者数は国別で1位(38.3万人、2014年)。



○製造業分野での日系企業による米国での過去5年間(2009~14年)の雇用者増加数(9.1万人)は国別で1位。



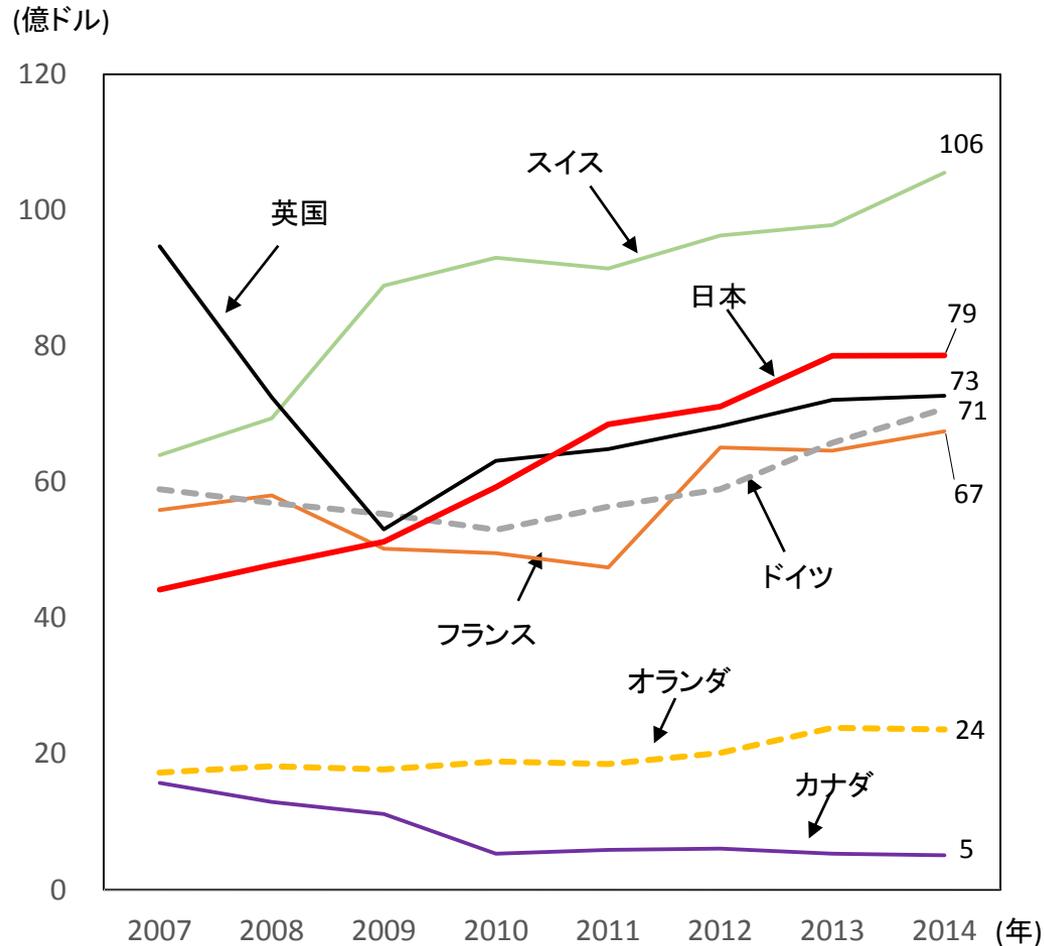
○日系企業の製造業雇用者数(2014年)を業種別にみると、輸送機器(自動車等)、プラスチック及びゴム製品(タイヤ等)が上位。



(備考)米国商務省直接投資及び多国籍企業データより作成。
議決権過半数所有子会社が対象。

日系企業の研究開発支出

○日系企業の米国における研究開発支出は2011年以降、国別で2位。



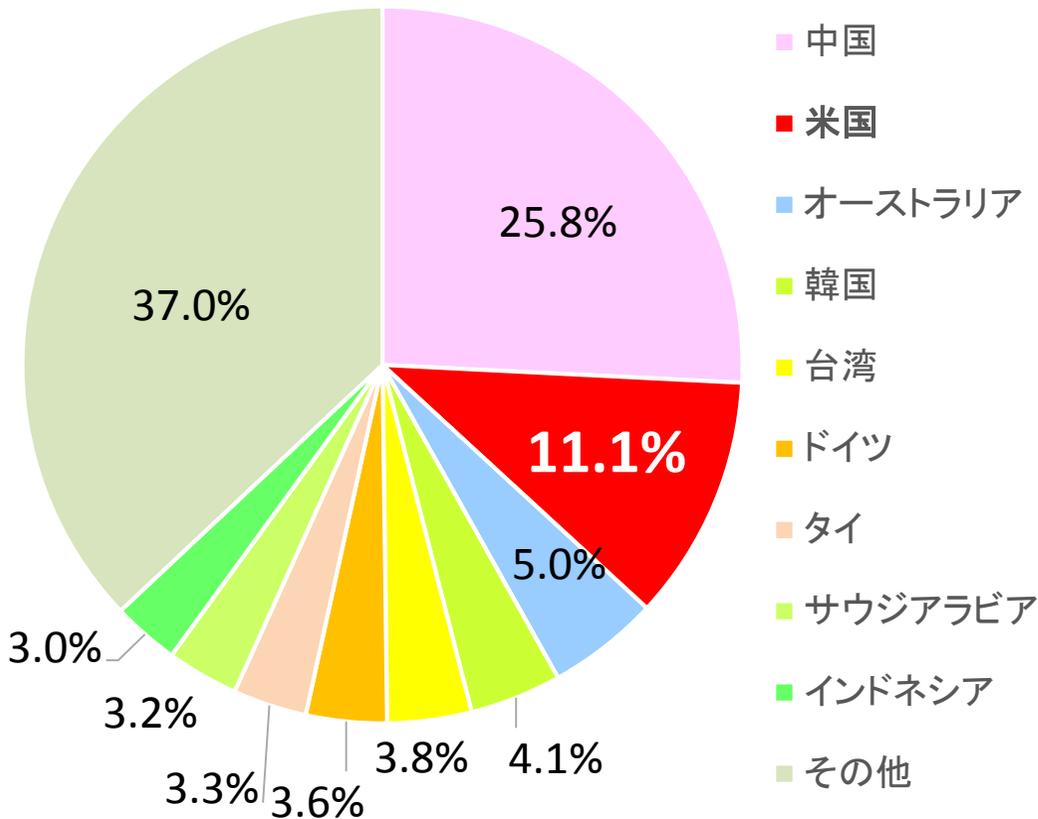
(備考) 米国商務省直接投資及び多国籍企業データより作成。
議決権過半数所有子会社が対象。

日本の輸入

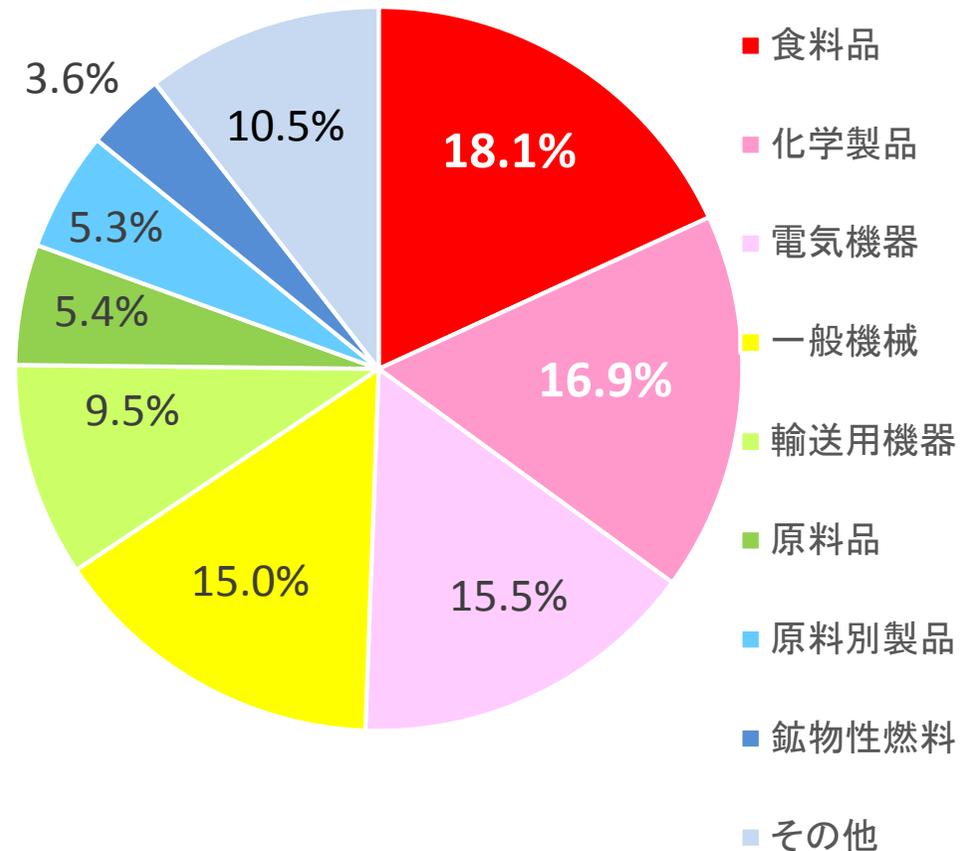
○日本の輸入額(2016年66兆円(速報))の国別内訳は、米国の割合が第2位(11.1%)。

○日本の米国からの輸入割合のうち最大の品目は、①食料品(穀物類、肉類等)(18.1%)、②化学製品(医薬品等)(16.9%)、③電気機器(半導体電子部品等)(15.5%)、④一般機械(航空機用内燃機関等の原動機等)(15.0%)。

日本輸入額 国別割合 (2016年)



日本の米国からの輸入割合(2016年)

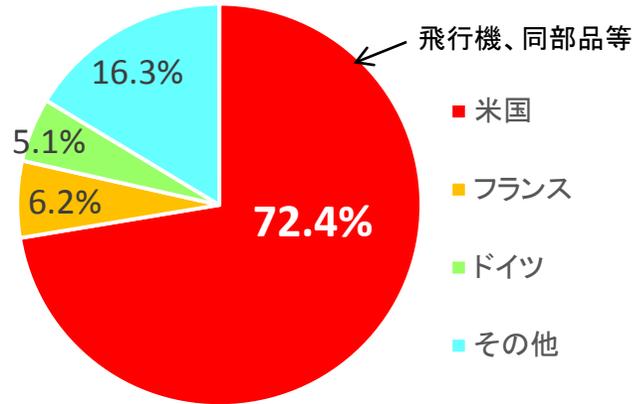


米国のシェアが高い輸入品目

○品目別で米国のシェアが特に大きい輸入品目は、航空機類(飛行機、同部品等)、原動機(航空機用エンジン等の原動機等)、食料品、化学製品(医薬品等)。

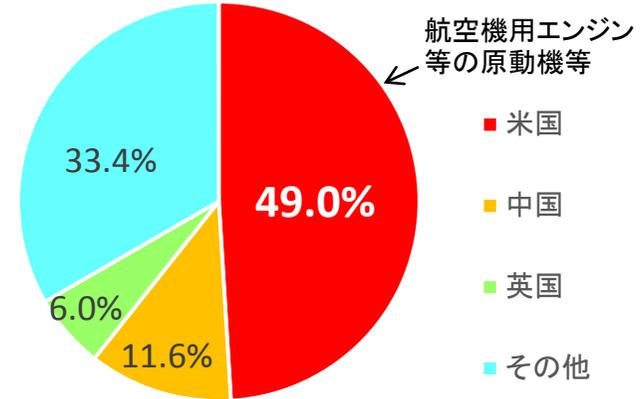
(輸送用機器の一部)

航空機類 (米国からの輸入の7.2%)

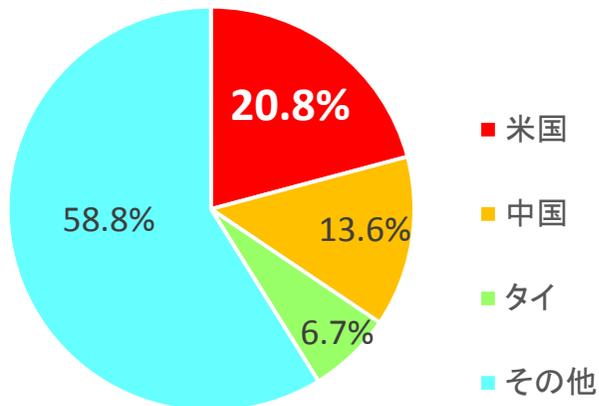


(一般機械の一部)

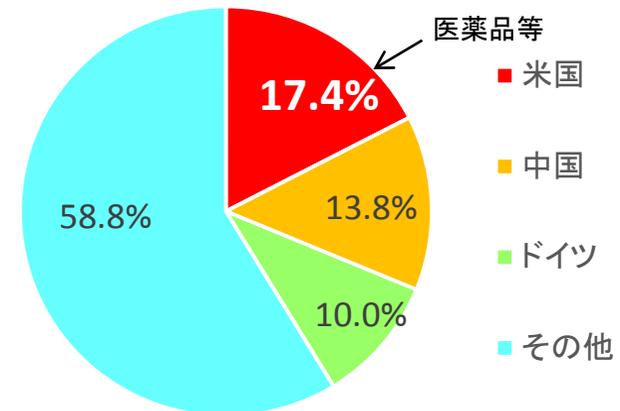
原動機 (米国からの輸入の7.8%)



食料品 (米国からの輸入の18.1%)



化学製品 (米国からの輸入の16.9%) (医薬品の米国のシェアは全体の14.7%)



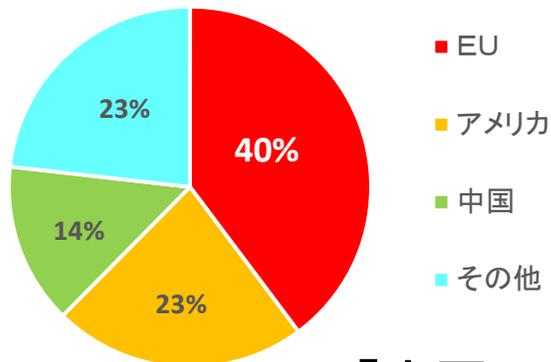
(参考) EU・中国から日本への輸入：シェアが高い品目

○EUのシェアが高い品目は、輸送機器。特に乗用車は8割がEUからの輸入。

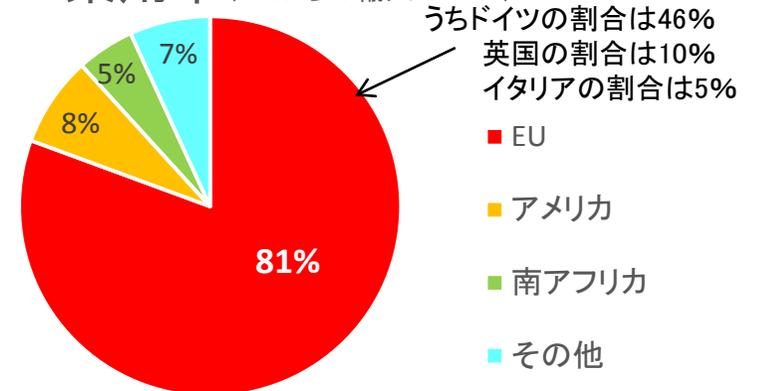
○中国のシェアが高い品目は、電気機器(スマートフォン等の通信機、テレビ等の音響映像機器等)、一般機械(パソコン等の電算機類、同部品等)、原料別製品(鉄鋼製建設機材等の金属製品、織物用糸及び繊維製品等)。

【EUのシェアが高い品目】 (輸送用機器の一部)

輸送用機器 (EUからの輸入の15%)

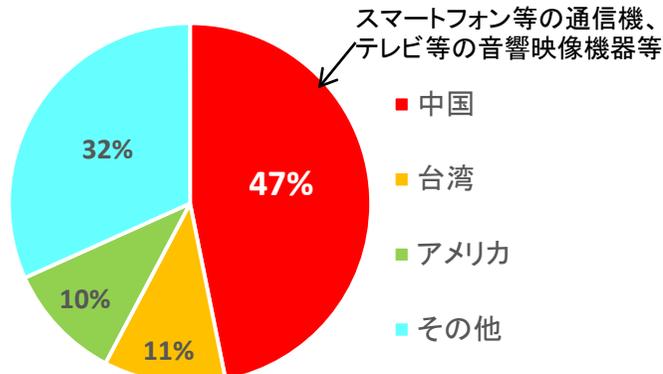


乗用車 (EUからの輸入の12%)

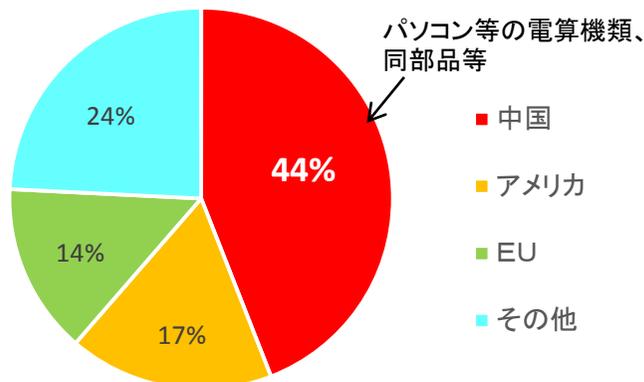


【中国のシェアが高い品目】

電気機器 (中国からの輸入の30%)



一般機械 (中国からの輸入の16%)



原料別製品 (中国からの輸入の12%)

